見どころ案内

2まじしじは つきじほんがんじ まみたがわ けしき たの 築地市場に築地本願寺、隅田川の景色も楽しめるエリアだ。明 できた。 がいこくじんきょりゅう ち 治期に外国人居留地だった明石町には異国情緒が残っている。

エキゾチックなお寺に入ってみよう

築地本願寺

異国風の外観の建物は1934年に建てられた古代イン ※っきょうようしき ほんどう ド仏教様式。本堂にはいろいろな動物像やパイプオル ガンなど見どころがいっぱいある(→p.136)。





赤い獅子と黒い獅子がいる 波除稲荷神社

(築地6-20-37)

江戸時代に厄除けと商売はんじょう を願って建てられた。境内には赤と くぶん ままる しょう ままん ままん ままん 黒の大きな獅子が向かい合う。 すし 塚、海老塚など魚に関する石碑も。





い獅子は豪歯ね

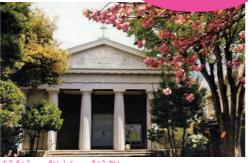
隅田川から東京観光 ・水上バス

たくさんの橋の下を通り、然の 都を実感できる隅田川の観光船。 このエリアには浜離宮庭園、聖 路加ガーデン前に発着場がある。

船の形はいろいろ。 写真は漫画家の松 本零士氏がデザインした「ヒミコ」。

見たことない 形や色をした 魚もいるね。





カトリック築地教会

(朝石町5-26) 1874年に東京ではじ めて^全まれたカトリッ ク教会だ。現在のギリ シャ神殿風の聖堂は 1927年に建てられた。





勝鬨橋の変電所に入ろう

かちどき橋の資料館

かつて勝鬨橋を開閉するためにつかわれていた変 電所が資料館に。当時の発電機や電気設備がその まま残る。勝鬨橋のなかに入る見学ツアーもある。



いつも買い物客で にぎわう

築地場外市場

(築地4丁月地域)

ないないる都民の台所だ。 食品だ けでなく生活雑貨も売っている。 覚て**じるだけでも楽しいよ**。

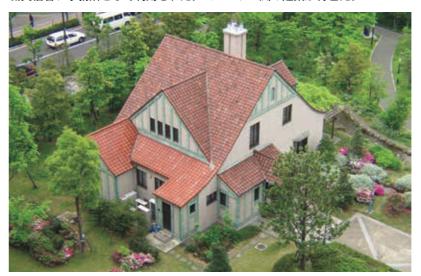


勝鬨橋の開閉のようすがわかるもけいがある。

聖路加国際病院の創始者も住んでいた

トイスラー記念館 (熊崎) 10)

せいる か ニՀ きいびょういん
聖路加国際病院のキリスト教宣教師の洋館で、1933年に建てられた。その後 はくいんしゅくしゃ じょうしょ りょう 職員宿舎、事務所として利用された。ヨーロッパ風の建築が特色だ。





迫力あるプラネタリウムも楽しめる

■ タイムドーム明石

(**中央区立郷土天文館**) (明石町12-1) 中央区の郷土資料展示では、江戸時代のお店の看 板や生活用品などの実物が見られる。季節ごとに プログラムが変わるプラネタリウムも人気がある。

江戸前ずしは屋台からはじまった!

立た際(今の東京湾)でとれた新鮮な魚をつかったすしを「江戸前ずし」 という。屋台で気軽に食べられるファストフードだったんだ。









る元禄寿司」は1958年 大阪に開店。写真は1960 (右) 現在の築地にあるす には、肩覚の人でにき わう場所にすし屋の屋 台がえがかれている。

江戸前ずしは握りずしともいう。19世紀はじめに生まれ、江戸の人々に親し まれ、全国に広まった。おなじみの回転ずしがはじめて登場したのは昭和30 年代のことだ。今では海外でも「KAITEN SUSHI」とよばれて人気があるよ。

イギリスの回転ずしを「YO! Sushi lのメニューには手巻きずしがある。

